



小学校高学年向け 年 組

2023年5月18日付・下野新聞4面

記事は加工しています

信号機のない横断歩道で一時停止率のさらなる向上を図ろうと、県警や県交通安全協会が制作した第5弾となる啓発CM「もっと止まれる栃木県」の放映が17日、とちぎテレビなどで始まった。県警の公式ユーチューブチャンネルでも公開している。

横断歩道 一時停止 は止めないで

完成した第5弾のCM「もっと止まれる栃木県」の一場面（県警提供）



栃木県警察本部・栃木県交通安全協会

県警など 第5弾CMの放映開始

県警の佐藤雅人交通部長は17日の定例記者会見で、「停止率は年々確実に上昇している。もっと止まれるんだという強い意識を持ち続け、各種対策を推進する」と話した。（佐藤 駿）

新CMは30秒間で、交通安全をテーマとしたかるた大会の設定。はかま姿の女性2人が交通ルールに関する札を取り合い、信号機のない横断歩道で「もっと止まれる」ことを強調した。

2018年に本県の一時停止率が0.9%で全国最下位だったことを受け、県警はキャンペーンを開始した。19年から毎年制作している。一時停止率は年々上昇し、21年は31%（全国22位）、昨年は44.9%（同）となり2年連続で全国平均を超えた。しかしまだ、半数以上が一時停止していない現状から、新CMでは「横断歩道は歩行者優先」のさらなる意識向上を訴える。

2018年に本県の一時停止率が0.9%で全国最下位だったことを受け、県警はキャンペーン「止まってくれない栃木県からの脱却」を展開した。CMは19年から毎年制作している。一時停止率は年々上昇し、21年は31%（全国22位）、昨年は44.9%（同）となり2年連続で全国平均を超えた。しかしまだ、半数以上が一時停止していない現状である。

設 問

【1】見出しの□に入る四字熟語を記事の本文の中から探して書き抜きましょう。

【2】栃木県の信号のない横断歩道での一時停止率やCMについて、正しい説明には○、記事の説明とはことなる内容には×と答えましょう。

- ①一時停止率が0.9%で全国最下位になったことを受け、県警はキャンペーンを開始した。
- ②CMは一時停止率が全国最下位になった2018年から毎年作成されている。
- ③一時停止率は年々上昇し、昨年の22年には、ついに全国平均を超えた。
- ④全国平均を超えたものの、いまだ県民の半数以上が一時停止していない現状である。

上が一時停止していない現状である。

【3】「もっと止まれる栃木県」とありますが、もしあなたならどのようなスローガンにしますか。次の条件にしたがって答えましょう。

- ・条件①：10字～15字で1度の字数で、おわりが「……栃木県」の形になるようにまとめる。
- ・条件②：「さらなる停止率の向上」または「横断歩道は歩行者優先」をうったえるスローガンにする。
- ・条件③：読んだ（見た）人の心に残るスローガンになるように工夫する。